

<p>教科 単元名</p>	<p>第5学年 社会科 「工業の今と未来」</p>
<p>教科の目標</p>	<p>プログラミングの「デバッグ」を体験し、工業生産を支えるプログラマーの役割を知るとともに、工業生産を支えている重要な役割であることを理解する。</p>
<p>プログラミングソフト</p>	<p>Micro:bit (マイクロビット)</p>
<p>プログラミングソフトを活用した利点</p>	<p>実際に自分がプログラムしたものが手元で動くことで、喜びや達成感、試行錯誤する苦勞などが味わえる。</p>
<p>成果 (児童の様子、変化など)</p>	<p>研究授業の視点①②</p> <p>① 社会科のねらいに迫っていたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者の立場に立ち、消費者のことを考えてプログラムを考えていた。 (例：高齢者でも安全に渡れるように、信号の表示時間を変更する。目の不自由な人のために音を鳴らせるようにしようとする。など) 消費者のニーズに合わせ、生産者がどのような工夫をしているか考えることができた。 <p>② 工業生産を支える人々の喜びや苦勞に気づかせるための有効な手立てとなっていたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータでプログラムを組み、実際にモノで確かめることができる。プログラムが動く喜びを感じやすい。 試行錯誤できるのがよい。工夫しようと意欲的に取り組む姿が見られた。
<p>課題</p>	<p>研究授業の視点①②</p> <p>① 社会科のねらいに迫っていたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工業生産を支える人々の思いや工夫、気付いたことを確認する場をもう少し取った方が、より教科のねらいに迫れたのではないか。 喜び→プログラムを完成させ、味わうことができたか。 苦勞→デバッグできなかった児童は、生産者の苦勞を考えることができたか。など <p>② 工業生産を支える人々の喜びや苦勞に気づかせるための有効な手立てとなっていたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題の持たせ方やプログラマーの設定状況など、もう少し明確にしないと遊び始めてしまう可能性がある。 マイクロビットの基本的な操作（保存の仕方など）を身につけておくといよい。そうすれば、より教科のねらいに迫る手立てとなり得る。

